お湯の魅力で満足度アップ

全国の「風呂じまんの宿」27軒を紹介

この特集は本社ホームページ「観光経済ドットコム」でもご覧いただけます

http://www.kankokeizai.com

「施設」「料理」「サービス」は旅館・ホテルを構成する3大要素だが、温泉地の旅館・ホテルはこれに「温泉」が加わる。お湯そのものの魅力もさることながら、近年はプライバシーやエンターテイメント性を重視した施設の充実ぶりも目立っている。ここでは全国の数ある温泉旅館・ホテルの中から、湯と設備の魅力で集客に実績をあげている「風呂じまんの宿」27軒を紹介する。

特集9～12面

北海道・登別温泉

登別温泉郷　滝乃家

北海道内最古の露天風呂

北海道・登別温泉郷の滝乃家（須賀秀郎社長）は、大正6年創業の歴史ある老舗旅館だ。深い緑に囲まれた2千坪の広大な日本庭園、道内で最も早く開設されたという露天風呂で名高い。宿の名に配した「家」には、旅行者にとって「温かい郷里、安息の家のようにありたい」との思いが込められている。

豊富な湯量と多様な泉質が湧出する登別温泉。滝乃家では趣の異なる浴場で、源泉「地獄谷」から湧き出る4種類の泉質が堪能できる。

最上階の5階にある露天風呂「雲井の湯」の泉質は食塩泉と鉄泉。そこからの眺望は「絵画のごとく」と形容されるほど。登別の樹林を望み、風わたる開放感に満ちている。

地階の「地縁の湯」はラジウム泉と硫黄泉。露天風呂と内湯があり、四季に移ろう木々に囲まれた癒やしの空間が広がっている。

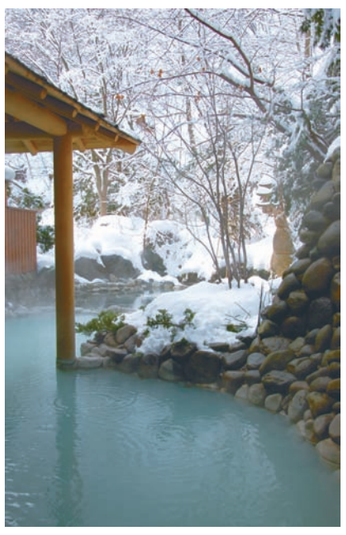
客室は計30室。「我が家のようで、隠れ家のようでもある」という客室は、和室、和洋室、暖炉付き、露天風呂付きなどそれぞれの魅力を備えた7タイプがある。

客室露天風呂

温泉にこだわるなら、源泉かけ流しの露天風呂が付いた客室。Dタイプ（10室）は和洋室で、開放的なウッドデッキを備え、名湯をプライベートな空間で心ゆくまで楽しめる。DWタイプ（2室）は広さ92平方㍍とゆったりとしたハイクラスの和室。露天風呂のほか、食事専用の部屋も特設されている。

女性客向けのトリートメントサロンもある。自家温泉水をベースにシラカバ樹液など北海道ならではの自然のエキスを加えた滝乃家オリジナルのゲルで体と肌を優しく補修してくれる。ボディ（全身）、フェイシャル（顔）、フット（足）などさまざまなメニューでぜいたくなひと時が過ごせる。

▽北海道登別市登別温泉町162。☎0143（84）2222。http://www.takinoya.co.jp/


冬の露天風呂

山形県・蔵王温泉

蔵王国際ホテル

天井高の総木造りの湯

山形県蔵王温泉の蔵王国際ホテル（伊藤八右衛門社長）。自慢の「八右衛門の湯」をぜひ体験したい。

内風呂と露天風呂の両方がある。内風呂は丸太の梁をむき出しにした大胆な造り。温泉の硫黄の香りと木の温もりが人々の体を優しく包み込む。天井高は最高6・5㍍と高く、間接照明が和の情緒を醸す。全面ガラス張りで開放感もたっぷり。時間による男女入れ替え制。

露天風呂は温度の違う2つの浴槽を楽しめる。冬の間の入浴も可能で、降り積もる雪を見ながらの雪見風呂もまた一興だ。

「大切な方とプライベートなひと時を」と、貸し切り風呂も充実している。「山の恵み」「森の恵み」「里の恵み」と名付けた3つの貸し切り風呂は、山小屋風のおしゃれな造り。宿泊客は無料で利用できる。

八右衛門の湯（露天風呂）

泉質は酸性・含硫黄―アルミニウム―硫酸塩・塩化物温泉。切り傷、やけど、慢性皮膚病、高血圧症など、さまざまな病に効くといわれる。乳白色の湯で、湯船に浮かぶ湯の花が効能の高さを物語っている。もちろん、源泉かけ流しで利用している。

休憩室には手もみクイックコーナーがある。「旅の疲れを癒やすフットコース」「凝ったところのクイック手もみ」ともに10分千円とリーズナブル。20分、30分、40分の各コースもある。

豊かな環境で育った蔵王牛や、山形の米「はえぬき」、名物玉こんにゃくなど、地元ならではの味覚も楽しみの一つ。

近くには世界でも珍しい樹氷が見られる蔵王温泉スキー場がある。スキーやスノーボードを楽しんだあとは、ホテルでの温泉ざんまいを楽しみたい。

▽山形県山形市蔵王温泉933。☎023（694）2111。http://www.zao-kokusaihotel.jp/

八右衛門の湯（内湯）

山形県・蔵王温泉

蔵王四季のホテル

離れの温泉棟「百八歩」

山形県蔵王温泉の蔵王四季のホテル（伊藤八右衛門社長）は、系列のおみや旅館、蔵王国際ホテルとともに、温泉自慢の宿だ。中でもお薦めなのが、離れの温泉棟「離れ湯 百八歩」。蔵王温泉ならではの真っ白いにごり湯を心ゆくまで楽しめる。

2006年に完成した離れの湯は、ホテルの玄関から歩いて文字通りの108歩の位置にある。

男女別の内風呂は、天井の梁から浴室の床まですべて木造り。木の温もりとほのかに漂う硫黄のにおい、効能豊かなにごり湯が人々の心と体を癒やしてくれる。

開放感いっぱいの露天風呂は内風呂とは趣が異なる石造り。湯に浸かりながら蔵王連峰・竜山の絶景を一望できる。

湯上がりスペースには足湯もある。露天風呂同様、雄大な山並みを一望する、眺望自慢の湯だ。パートナーとの待ち合わせの間、また周辺散策の帰りに利用してみたい。

離れ湯百八歩（内風呂）

泉質は硫黄泉（酸性・含硫黄―アルミニウム―硫酸塩・塩化物温泉）。慢性婦人病、糖尿病、高血圧症など、さまざまな病に効くという。加温、加水をせず、全てかけ流しで利用している。利用時間は午前6時から午後11時。

ホテル館内の大浴場「白樺の湯」は、大きな窓が特徴の、明るく開放的な風呂。館の名前通り、蔵王の四季を感じられる湯だ。

趣の異なる露天風呂が2種類あり、時間により男女でのれんを入れ替えしている。

サウナも完備。

湯は肌に優しい弱アルカリミネラル泉。こちらは24時間入浴できる。

離れの内湯と露天風呂、足湯、館内の内湯と露天風呂、サウナと、まさに温泉ざんまいを満喫できる。

▽山形県山形市蔵王温泉1272。☎023（693）1211。http://www.zao-shikinohotel.jp/

離れ湯百八歩（露天風呂）

岩手県・鶯宿温泉

ホテル森の風 鶯宿

岩手山望む空中露天

岩手県・鶯宿温泉のホテル森の風鶯宿（室田義男社長）は、秀峰岩手山を望む北東北屈指のスパリゾート。露天風呂から絶景を一望し、自然を満喫しながら温泉で心と体を癒やすことができる。

大浴場は洋風と和風の2種類。男女入れ替え制のため、1日の滞在でどちらの湯も満喫できる。

和風風呂は室内大浴場、半露天風呂、空中露天風呂の3種。空中露天風呂では岩手山の雄大な景色をさえぎるもののない広い視野で堪能できる。大浴場にはドライサウナもある。洋風風呂も室内大浴場、半露天風呂、空中露天風呂の3種を装備。空中露天風呂からは雄大な雫石盆地の景色を一望する。室内大浴場はヨーロッパの宮殿をモチーフとした優美なデザイン。

空中露天風呂

泉質は単純硫黄泉。冷え性、肩こりなどさまざまな病に効く。

同じ敷地には日帰り入浴施設「森のしずく」やウォーターパーク「けんじワールド」がある（両施設ともに期間営業）。

館内のおまつり広場では同館スタッフによる太鼓や餅つき、民謡など郷土芸能ショーを毎晩開催。湯に浸かった後はにぎやかなパフォーマンスで盛り上がりたい。

▽岩手県岩手郡雫石町鶯宿10の64の1。☎019（695）3333。http://www.morinokaze.com/

福島県・高湯温泉

旅館玉子湯

140年続く萱ぶきの湯小屋

福島県・高湯温泉は、古くから「奥州三高湯」の一つとして知られる名湯。わき出る湯は硫黄泉。白濁の湯は、いかにも温泉らしい。高湯温泉の入浴・宿泊施設の全てが源泉かけ流しであることをうたった「源泉かけ流し宣言」を全国で9番目に行っている。

その高湯温泉を代表する宿が旅館玉子湯（後藤省一社長）だ。風呂は、萱ぶきの湯小屋をはじめ、露天風呂、内湯、さらに足湯も加えて7種類と豊富。もちろん全て源泉かけ流しで、一切の加水、加温なし。

庭園内にある萱ぶきの湯小屋「玉子湯」は、その名称からも分かるように七つの風呂の中で一番の目玉で、同館の象徴ともいえる存在。慶長年間、狩人により発見された湯を、明治元年に庭坂村名主の後藤興次兵衛が仮小屋を作り、難病で悩む人々のために供したのが始まりとされる。創業から140年余もそのままの形をとどめている。

雪景色の天渓の湯

この湯に入ると肌が玉子のように滑らかになることと、温泉のにおいが玉子に似ていることからその名が付けられた。ぽかぽかと温まり、体に効く。とにかく泉質が良いと評判が高く、この湯に魅入られて、何度も足を運ぶリピーターは多い。

趣のある木造の湯小屋の中は、浴槽と脱衣所の仕切りがない。昔の湯小屋の造りが今に残る。

湯小屋からさらに庭園を歩くと、自然の中で温泉を楽しめる野天岩風呂の「天渓の湯」と「天翔の湯」がある。日替わりで男女入れ替えになり、どちらも入浴可能だ。露天風呂は、女性専用の「瀬音」も有している。

「自然の彩りや、夜のきれいな星空を眺めながら、良質の温泉を十分に楽しんでいただきたい」と女将の後藤洋子さん。

▽福島県福島市町庭坂字高湯7。☎024（591）1171。http://www.tamagoyu.net/

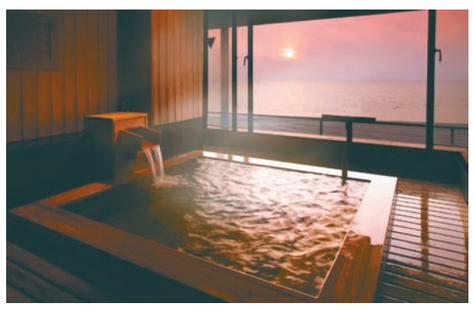
秋の玉子湯

山形県・湯野浜温泉

游水亭いさごや

趣が異なる6つの風呂

山形県・湯野浜温泉の游水亭いさごや（五十嵐浩社長）は、趣の異なる6つの風呂が魅力。潮騒、夕陽、月光と時の移ろいを感じて湯に浸かる上質なくつろぎを約束する。海辺に面し潮騒が心地よい「吟水の湯」には、内湯の展望露天風呂と展望露天檜風呂、露天岩風呂。壺庭を臨み湯船に月が映ることもある「月水の湯」には、内湯の滝見檜風呂と露天岩風呂、露天檜風呂。男女入れ替え制で1泊2日の滞在でも6つの湯を満喫できる。


吟水湯の展望露天檜風呂

貸切風呂のハイプライベート・スパ「漣」は、入浴前後の時間にも贅を尽くした。リビングルームのような空間でソファにくつろぎ、音楽を聴きながら冷えたシャンパンを味わうことができる。

客室は、展望露天檜風呂が付いたスイートルームをはじめ計48室。料理は、地元の旬の魚介をテーマにした「庄内浜海幸」、鳥山人の書画や器を観賞しながらダイニングルームで味わう「鳥水の膳」などが好評だ。

▽山形県鶴岡市湯野浜1の8の7。☎0235（75）2211。http://www.isagoya.com/